

踏み跡 <My Mountains>

大菩薩	黒川(鶏冠)山	No.215
-----	---------	--------

平成3年5月26日
 スポニチ山中湖ロードレースが終わった後、日曜日の午後東京方面に向かう渋滞を尻目におおかたの車とは逆方向の塩山へ。そして旧青梅街道の柳沢峠への道に入り、裂石に着いたのは17時ちょうど。松葉荘という民宿に飛び込み、一夜の宿を確保。夕食前に入浴と一本の缶ビールは絶品。これで今日のロードレースの疲れは一気に吹き飛んだ。きのこ豆腐の鍋・肉じゃが・マスの塩焼き・なめこおろし・コンニャクのさしみ・山ウドの炒め物・そばと、温泉旅館のようにギタギタしていない夕食がありがたい。

平成3年5月27日
 夜中に目が覚めた時にはせせらぎの音と思い込んでいたが、5時に目が覚めたら実は土砂降りだった。もうひと眠りを決め込んで、7時半に起床。朝食後空模様を見た結果、当初計画の裂石・丸川峠ルートは止めて、車で柳沢峠まで入り六本木峠経由のルートに変更することにした。雨の中を歩くことを想定して、短距離でアタックできる方法を選択した。宿賃(お弁当付き) ¥6,010 を払って9時に松葉荘を出発。

柳沢峠に9時30分に到着。雨とは言えこのまま帰るのも勿体ないと思い、峠路に合流する小道を覗きこんだらワラビが元気よく伸びている。これは放ってはおけない。霧雨程度の雨になり、やがて気にならぬ程度の降り方になったのをきっかけに、山菜とりを兼ねて鶏冠山のピストンを決定。9時55分に柳沢峠を出発。水滴よけにジャンパーを着用。峠までですでに高度を稼いでいるせいか、快適なプロムナード。途中でポンチョを着用するような状態にはなったが、それほどの苦行でもなく六本木峠に10時38分に到着。

泉水谷から上がってくる林道を横切り、さらに緩やかなさして苦痛を感じることもないような気持ちの良い登りが続く。まるで雨の散歩を楽しむような状況になってきた。遠景が全く見えないため、必然的に足元の植物群に目が行くことになる。ツツジはちょうど見ごろのようだ。伐採地の跡で山ウドの群れを発見して思わず収穫。

黒川(鶏冠)山12時07分着。霧雨の中で何も見えないし、他に人が誰もいないので音もしない。まさに「無一物」という表現がぴったりの山頂。

頂上踏破を楽しんだ後は少し下って山菜とりを楽しみながら昼食。

柳沢峠に13時50分に帰着。濡れた登山服から乾いたドライスタイルに着替えて、14時30分に柳沢峠をスタート。塩山へ下って、勝沼インターから中央高速に入り17時45分に帰宅。月曜日だし天候が良くないせいもあり、道路はあまり混雑せず早く帰ることができた。



以上